

施設名	静岡市北部生涯学習センター美和分館			所在地	静岡県静岡市葵区安倍口団地5-1
				電話番号	054-296-7122
所管部署	静岡市生涯学習推進課	HP	https://sgc.shizuokacity.jp/	SNS	X、Facebookともに@shizuoka_sgc



○施設外観・事業風景



○施設概要

施設の沿革・年表		施設の運営で大切にしている考えなど(PRポイント等を含む)	
平成21年:北部生涯学習センター美和分館 開館 開館当初より公益財団法人静岡市文化振興財団が指定管理者として管理運営している。		「アカデ美和」はアカデミー・アカデミック・アカデミアと地域名である「美和」を掛け合わせた造語で、美和地区の学びの拠点になるという祈念がこめられている。 その名のとおりの知の拠点、また美和地区の住民のふれあいの場となることを常に心がけて管理運営してきた。また、平成26年からは、特に「子を育む美和」を合言葉に、子どもを対象とした事業を重点的に実施している。	
市町人口	675610人	施設対象人口	11705人
建物設置年月日	平成21年9月	開館日数(前年度実績)	296日
運営主体	<input type="checkbox"/> 市町教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (公益財団法人静岡市文化振興財団) <input type="checkbox"/> 市町首長部局 <input type="checkbox"/> その他 ()		
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人	合計 8人
講座等開催数(前年度実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 133回 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会・展示会等 2回	<input checked="" type="checkbox"/> その他 4回	合計 139回
来館者数(前年度実績)	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 8017回 <input type="checkbox"/> 講演会・展示会等 0回	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館・サークル活動 16969回 <input type="checkbox"/> その他 0回	合計 24986回

○事業等の実施状況(『特色ある活動』であげた事業以外で2つ)

区分	事業名	開催回数	延参加者数	区分	事業名	開催回数	延参加者数
<input type="checkbox"/> 主催 <input checked="" type="checkbox"/> 共催	アカデ美和 こどもの祭典	1回	414人	<input checked="" type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> 共催	めざせ!コマ回しの名人	2回	9人
事業概要(共催先も記載)				事業概要(共催先も記載)			
子どもや親子に向けた、5つの体験ブースを出展した。うち4つは当センター事業で育成した「こども先生」が、来場者を指導した。学区や学年を超えた子ども同士の交流の場となった。				「アカデ美和こどもの祭典」に向け、「こども先生」を育成した講師の指導の下で回し方と教え方を身に付け、実践した。「先生と呼ばれることが嬉しかった」など満足の声が寄せられた。			



施設名**静岡市北部生涯学習センター美和分館**

○特色ある事業

1. 事業名

アカデ美和 こどもカレッジ

2. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

施設周辺には安倍口、美和、足久保、松野の小学校区があり、それぞれが特色のある行事、文化・伝統を地元の人たちが大切に守り育て受け継いでいる。付近を安倍川が流れ、里山にも程近く自然豊かで、名所旧跡も点在する魅力ある地域である。恵まれた地域の人材、資源を活かし、子どもたちの健やかな成長を促すことを、施設の重点テーマとして定めた。

3. 取組内容(力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など)

平成26年度より継続実施している小学生向けの事業。年間13回の講座を通じ、学校では学ぶことの少ない現代的課題や、学区・学年を超えた仲間づくりを行っている。

こどもカレッジの受講者が別に実施する事業「アカデ美和こどもの祭典」において、来場者に工作や体験を教える「こども先生」として活動する。この活動を通して幅広い交流の機会を提供し、また他者への指導ができ、将来活動のリーダーとなる人材を育成する。

4. 参加対象、参加者数(前年度実績)

参加対象	参加者数
小学2～6年生	30人

5. 取組による成果や効果

平成26年より取組みを続け、令和5年度で10年となる。例年、定員を上回る受講申込があり、当センターの主要事業として定着している。また、受講者が当センターの他講座に参加する契機となる、といった効果も見られ、「子を育む美和」の核として機能している。

6. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

事業終了後のアンケートにより、受講者から意見を聴取し、これを基に評価・反省を実施している。また、施設の重点事業として、運営委員会において取組内容や募集情報を詳細に説明し、委員からの意見を求めている。

**7. 今後の目標・展開、次の仕掛け・ビジョン**

センター重点事業は令和5年度までの5ヵ年計画であったが、令和6年度から10年度までの5年間も引き続き、「子を育む美和」をテーマに子ども向け事業を展開していく。「アカデ美和 こどもカレッジ」を核とした子ども向け事業を継続していくほか、地域の幼保小中連携の枠組みとも協力し、子ども向け事業のさらなる充実を図る。